



ドレスウォッチブランド「クレドール」は、2026年4月14日～4月20日に開催される世界最大の時計の見本市「Watches and Wonders Geneva 2026」に初めて出展することを発表した。

## ドレスウォッチブランド「クレドール」がWatches and Wonders Geneva 2026に初参加

クレドールは、1974年に誕生して以来、卓越した技術と繊細な感性を融合させ、最高級の品質を追求しながら、唯一無二の個性を紡いできた。クレドールというブランド名には、「黄金の頂き」という想いが込められている。ブランドロゴの一部を成すクレス

トマークの頂点に輝く3つの星は、それぞれ「感性」、「技術」、「技能」を象徴し、日本発のドレスウォッチブランドとして、品質と美の頂点を極めるという信念を表す。これまでに多彩なモデルを世に送り出し、2024年にブランド誕生50周年を迎えたクレドールは、「The Creativity of Artisans (匠たちの探求と豊かなる創造)」をブランドメッセージに掲げ、次なるステージへと歩みを進めている。

## 未来への飛翔をイメージした30周年限定モデルメカニカルと高精度年差の2モデル発売



時計の本質を追求し、卓越した精度を誇る高品質ウォッチ『The CITIZEN』の発売30周年を記念し、それぞれ自社開発の高精度機械式ムーブメントCaliber 0200と年差±5秒の高精度エコ・ドライブムーブメントCal.A060を搭載した限定2モデルが11月より順次発売される。価格715,000円の世界限定300本、特定店限定モデルと、価格440,000円の世界限定500本。

### The CITIZEN

### 未来への飛翔をイメージした30周年限定モデルメカニカルと高精度年差の2モデル発売

それぞれ、より良い腕時計を志向する『ザ・シチズン』を象徴するムーブメントである自社製機械式ムーブメントCal.0200および、高精度エコ・ドライブムーブメントCal.A060を搭載している。メカニカルモデルに搭載のCal.0200は、時間精度の長期持続性に優れたフリースプリング方式を用い、クロノメーター規格を超える平均日差-3〜+5秒を実現する高精度と審美性を兼ね備えており、エコ・ドライブモデルに搭載のCal.A060は年差±5秒という高精度かつパーペチュアルカレンダーを備えた実用性を持っている。両モデルとも文字板には、ザ・シチズ

## 多彩な漆芸と彫金技でさらなる美の高みへ飛翔するトゥールビヨン限定モデルがクレドールより発売



10月24日より発売されるクレドールの漆芸と彫金の技で彩ったトゥールビヨンモデルは、全世界で10本の限定となり、価格は25,300,000円。セイコーの薄型メカニカルウォッチの系譜を脈々と受け継ぎ、クレドールの名のもとに60余年ぶりに蘇った「ゴールドフェザー」は、現代にふさわしい高

級薄型メカニカルウォッチ。羽根のように「薄く」、「軽やかで」、「空気をはらみ」、「艶やかで」、「優美」であることをデザインコンセプトとし、現代のドレスウォッチとしてふさわしいスペックとデザインにアップデートしたコレクションだ。

ゴールドフェザーとして初めてトゥールビヨンムーブメントを搭載した今年には、加賀時絵の達人である田村一舟氏による、緻密な漆芸が施されている。9時位置のトゥールビヨンキャリッジを太陽に見立て、そこから溢れ出るエネルギーが、鳥の群れに姿を変えて12時位置のクレストマークに向かって空高く飛翔していく様をダイヤルに表現している。トゥールビヨンキャリッジを取り巻くエネルギーのような装飾は時絵の技法を、ダイヤル内側の赤みを帯びた金色の鳥は切金(24金などの薄い板を貼る

技法)を、外側の色鮮やかな鳥は螺鈿の技法を用いている。繊細にカーブしたダイヤル上に、漆を使って色鮮やかな金、白蝶貝、夜光貝を貼り付け、漆を重ね、表面を滑らかに研ぐ工程を繰り返し、煌びやかにダイヤルを彩った。そして、田村氏の真骨頂である陰影が際立つ立体的な高時絵で、クレストマーク、CREADORロゴに加え、今回初めて極細のGoldfeatherロゴも描いた。さらに、トゥールビヨンキャリッジを支える受は、翼を広げた鳥の姿をモチーフとしており、頂点のエッジや、側面の絹目模様など、細部まで美しく仕上げていく。また、裏面は、トゥールビヨンキャリッジから偏心状に広がる大胆な彫金と漆芸で、猛禽類が羽ばたく際に上昇力を生み出す「風切り羽(かざきりばね)」を表現。三日月形の美しい夜光貝の螺鈿に、羽の輪郭が高時絵で表現されている。ムーブメントの受には、外側に向かって力強さを増す羽を緻密に彫金している。これはクレドールの彫金工房が手掛けており、様々な工具を使い分けることによって、わずか0.15mmの深さで

彫りながら、深みのある美しさを生み出している。搭載されている新ムーブメント「キャリバー6850」は、薄型手巻トゥールビヨンムーブメント「キャリバー6830」を継承した、厚さ3.98mmの非常にコンパクトなムーブメントだ。「キャリバー6830」と同サイズでありながら、香箱(動力ぜんまいの取められた部品)の容量を拡大することで、60時間のパワーリザーブを実現。このムーブメントは、2023年秋に黄綬褒章を受章した齋藤勝雄氏の卓越した技術によって組み立てられたものだ。ゴールドフェザーに搭載する全てのムーブメントは、その薄さゆえに、高度な技能を有する時計師が組立・調整からケーシングまでを一貫して手掛けている。ケースと裏蓋が一体化した構造を採用することで、強度を維持したまま、8.6mmの薄さを両立するとともに、ゴールドフェザーらしい優美なカーブを描く、軽やかなケースフォルムになっている。熟練した職人の手によって手作業でケース表面を磨きあげるとともに、裏ぶたガラスもカーブさせることで、ケースからガラスに続くならめらかにこだわり、優しい着け心地に仕上げていく。

## 月明りが差し込む静かな夜の海 上下で異なる江戸切子を施したサファイアガラス OCEANUSの限定2モデル発売

カシオ計算機は、アナログ電波ソーラーウォッチOCEANUSのプレミアムラインOCEANUS Mantaの新製品として、ベゼルに江戸切子を施し、月明りが差し込む静かな夜の海を表現した『OCW-S7000CN／OCW-SG1000CN』を11月14日から発売する。同社は、「驚きを身近にする力で、ひとりひとりに今日を超える喜びを。」というパーパスのもと、時計事業においても人々の大切な時間に寄り添う製品づくりを目指している。誕生から20年を経たOCEANUSは、精密な時刻とエレガントなデザインを追求するとともに、新たな挑戦を重ね、驚きと感動を届ける製品を開発し続けている。今回発売の『OCW-S7000CN(308,000円)の1,600本限定』／『OCW-SG1000CN(682,000円)の600本限定』は、淡い月光に照らされて輝く海面をイメージし、ベゼルに江戸切子を施した限定ウォッチ。『堀口切子』職人の三代秀石 堀口徹氏監修のもと、「千筋」という江戸切子の技法

で一つ一つ丹念に装飾を加えている。ベゼルの上半分に放射状に刻まれた千筋は月の柔らかな光を、下半分の水平方向の千筋は静かな海面に反射する光の揺らめきを表している。サファイアガラスの表面に施された多角面カットは、波間で光の粒がきらめく水面を描き出した。ブラックからシルバーへのグラデーション蒸着を採用することで、モノトーンで統一したデザインに仕上げ、深みのあるブラックダイヤルには、月から着想を得た微細な凹凸加工を施すことで砂目調の質感を実現した。『OCW-SG1000CN』には、高照度カットの耐久性と充電効率が高いガリウムタフソーラーを搭載。裏蓋には月面をデザインしたエンブレムを刻印し、月夜の世界観を一層引き立てている。見る角度や光の強さによって表情が変化し、腕を傾けるたびにブラックと調和したブルーが輝きを放つ同製品は、OCEANUSらしいこだわりが込められた限定モデルだ。

阪急うめだ本店では、10月15日～28日の期間、日本最大級の時計の祭典「PREMIUM WATCH EXPO 2025」を開催する。バイヤーおすすめの新作モデルや限定モデルなどが、国内外の各ブランドから一堂に集結。「A Voyage Through Time」をテーマに、長い時を航海するように、ブランドの伝統と革新にふれながら、心躍る一本との出会いを楽しめる。スイスの「ウォッチズ&ワンダーズ・ジュネーブ2025」などで発表された、名門ブランドの最新作にも注目。ポップアップストアや、ゲストによる

## 「inner star」をテーマにしたトノー型ウォッチから新型3モデル発売

「ときめき」を提案するウォッチブランドwiccaから、テーマの「inner star」「自分の中にスターを持つことで自信を持ち、前に進めますように」という想いを込めた、新型3モデルが発売。10月9日から発売された。価格は41,800円～47,300円。



トノー型ケースに、小さな幾何学形状を織り交ぜたチェックパターンの文



字板をあわせ、繊細な輝きを纏った新作。文字板の1・5・7・11時位置には、中央からはじけるようなインデックスを採用し、軽やかで遊び心のあるデザインに仕上げた。様々な

シーンに合わせやすい、少し大きめのサイズ感と視認性が特長。限定モデルの文字板は白蝶貝を使った華やかな特別仕様。機能面では、太陽光や室内の光で充電可能な仕様となっており、定期的な電池交換の必要がない。日常の中で時計が止まる心配がなく、安心して使える。また、5気圧防水により、雨の日や汗、水仕事などのシーンでも気兼ねなく着用でき、毎日のライフスタイルに寄り添う。

トクショー、ワークショップなどスペシャルイベントも開催する。パネライのサンドイッチダイヤルをモチーフにしたキーチェーンの製作体験ほか、ウォッチ無料診断では時計修理の専門家が愛用の腕時計を無料で診断。タイムグラファーによる精度測定や防水状況のチェック、磁気抜きなどを実施する。Bell & Ross, BLANCPAIN, BREGUET, BREITLING, BVLGARI, Cartier, CHOPARD, CREDOR, Grand Seiko, HARRY WINSTON, IWC, Jaeger LeCoultre, LONGINES, OMEGA, PANERAI, PIAGET, TAG HEUER, Tiffany & Co., TUDOR, Vacheron Constantin, ZENITH。

## 腕時計の楽しさや面白さに斬新なアイデアを生み出すためにセイコーのデザイナーが主体となって挑戦

セイコーの挑戦の歴史を継承する「パワーデザインプロジェクト」は、100年を超える歴史の中で、絶え間ない挑

戦を続けていることから生まれた。「パワーデザインプロジェクト」は、セイコーウォッチのデザイナーが主体となって挑戦に取り組んでいるプロジェクト。2001年に発足し、2009年まで継続。2022年に13年ぶりに復活し、現在に至る。この試みは、セイコーのウォッチデザイナーが、腕時計の楽しさや面白さに様々な観点から光を当て、時計の本質とともに探究し、斬新なアイデアを生み出すことが目的である。このプロジェクトの復活後、記念すべき第1回を飾った2022年のテーマは「REBIRTH(リバース)-転生-」。セイコーの長い歴史の中で生み出された特徴的な腕時計の中から、ウォッチデザイナーたちが7本を選び、それぞれの視点によって生まれ変わった腕時計を提案した。

同作のデザインを担当した菅沼佑哉(すがぬま ゆうや)氏は、セイコーティセから1984年に発売されたモデルに着目。当時、セイコーはクォーツムーブメントのさらなる小型化に挑む一方で、腕時計の様々な楽しみ方を提案し、セイコーティセからアクセサリのようにゆったりと着けることができる、小さく華奢なブレスレットウォッチを発売。「ルーズフィット」と呼ぶ新しい腕時計の着用スタイルと価値観を人々に提案していた。そして2022年、1984年当時婦人用として発売されたオリジナルモデルを、その枠を超えた新しい腕時計として生まれ変わらせた。かつて「ブレスレットウォッチ」として親しまれた小ぶりのサイズ感と、アクセサリのように楽しめる、ゆったりとした着け心地を受け継ぎながら、誰の手元にもなじむ、現代の感性に寄り添うデザインに仕上げた。時計本体と12時側の大きな丸いこまを同じような大きさと形状に設計し、一

体感を表現することで、ファッションアイテムのような軽やかさを実現。また、サイズの違いをこまを12時側と6時側で使い分けたアシンメトリーなブレスレットは、様々な価値観を内包する今の時代にふさわしい新しいスタイルを目指した。着用した人の最も目に入りやすい、6時側から3つ目のこまだけに施された、きらりと輝く多面カットには、着ける人の心が高揚するような、ブレスレットらしい遊び心のあるワンポイントを加えた。また12時側のこまに、他のアクセサリなどではあまり見られない腕時計ならではのヘアライン仕上げと鏡面仕上げを組み合わせることで、控えめながらも洗練された輝きと、柔らかなフォルムの中にフラットな面が際立つデザインを実現。カラーは、シルバー、ブラック、ゴールドの3色をラインアップ。当初4箇所にしかなかったインデックスを12箇所に全てに配置し、さらに各ダイヤルカラーに合わせた鏡面仕上げの時分針を採用することで、腕時計としての視認性の向上と外観の美しさを実現している。